

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

訂正版

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2005年3月10日 (10.03.2005)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2005/022211 A1

(51) 国際特許分類⁷: G02B 5/128,
E01F 9/00, B32B 7/02, 27/00, 27/30

(21) 国際出願番号: PCT/JP2004/012872

(22) 国際出願日: 2004年8月30日 (30.08.2004)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願2003-209580 2003年8月29日 (29.08.2003) JP

(71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 日本カーバイド工業株式会社 (NIPPON CARBIDE KOGYO KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒108-8466 東京都港区港南二丁目11番19号 Tokyo (JP).

(72) 発明者: および

(75) 発明者/出願人(米国についてのみ): 野村 太 (NOMURA, Futoshi) [JP/JP]; 〒939-3551 富山県富山市

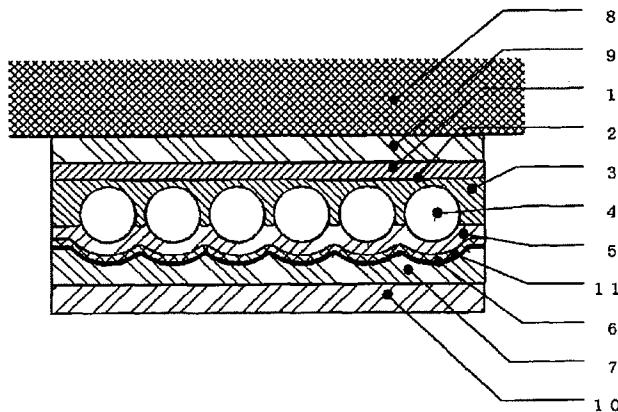
(52) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(53) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ヨーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF,

[統葉有]

(54) Title: RETROREFLECTION SHEET PROVIDED WITH BREAKABLE LAYER

(54) 発明の名称: 破壊層の設置された再帰反射シート



(57) Abstract: A retroreflector sheet having at least a surface layer, a retroreflector element layer and an adhesive layer, characterized in that at least one breakable sheet is provided among the layers constituting said retroreflector sheet, the resin constituting the breakable layer comprises an alicyclic polyolefin resin or an alicyclic acrylic resin, and when said retroreflector sheet is pasted on a substrate and then is released, it is released by the release at the interface between said breakable layer and a layer attached to said breakable layer or by the rupture of the breakable layer.

[統葉有]

WO 2005/022211 A1



BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN,
TD, TG).

(15) 訂正情報:
PCTガゼットセクションIIの No.24/2005 (2005 年6 月
16 日)を参照

添付公開書類:

— 國際調査報告書

(48) この訂正版の公開日:

2005 年6 月16 日

2 文字コード及び他の略語については、定期発行される
各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語
のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約:

本発明は、少なくとも表面層、再帰反射素子層および接着剤層からなる再帰反射シートにおいて、該再帰反射シートを構成する層の間に少なくとも一層の破壊層が設置されており、該破壊層を構成する樹脂が、脂環式ポリオレフィン樹脂または脂環式アクリル樹脂であり、該再帰反射シートを基材に貼着した後に剥離させたとき、該破壊層と該破壊層と密着する層との界面での剥離、または該破壊層の破壊により剥離することを特徴とする破壊層の設置された再帰反射シートを提供するものである。

特許協力条約

発信人 日本国特許庁（国際調査機関）

出願人代理人		PCT
小田島 平吉 様		国際調査機関が先に作成した要約書の 変更の通知書
あて名 〒 108-8466 東京都港区赤坂1丁目9番15号 日本自転車 会館 小田島特許事務所		(法施行規則第47条) 〔PCT規則38.2(b)、実施細則515号〕
出願人又は代理人 の書類記号 K-85Carbide		発送日 (日.月.年) 15.3.2005
国際出願番号 PCT/JP2004/012872		国際出願日 (日.月.年) 30.08.2004
出願人（氏名又は名称） 日本カーバイド工業株式会社		

この国際調査機関が作成した要約書（様式PCT/ISA/210）に対する出願人の意見を考慮して、次のように決定したことを通知する。

要約書は、以下／別紙 に示す理由によりこの国際調査機関が先に作成したとおりとする。

要約書を、出願人の意見書を考慮して、 以下／別紙 のように変更した。

本発明は、少なくとも表面層、再帰反射素子層および接着剤層からなる再帰反射シートにおいて、該再帰反射シートを構成する層の間に少なくとも一層の破壊層が設置されており、該破壊層を構成する樹脂が、脂環式ポリオレフィン樹脂または脂環式アクリル樹脂であり、該再帰反射シートを基材に貼着した後に剥離させたとき、該破壊層と該破壊層と密着する層との界面での剥離、または該破壊層の破壊により剥離することを特徴とする破壊層の設置された再帰反射シートを提供するものである。

この通知書の写し及び別紙は国際事務局に送付した。

名称及びあて先 日本国特許庁（ISA/JP） 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 森口 良子	2V 9125
電話番号 03-3581-1101 内線 3271		

様式PCT/ISA/205 (1994年1月)